

ライディングパークプロジェクト

オートバイは修理できますが、命の修理はできません

NPO法人ライダーズネット

バイクは、私達がより幸せになるための道具です。でもそのバイクで、毎年何人ものライダーが命を落とし、大ケガを負い、その周りにいる何倍もの人達が深く傷付いています。そのような悲惨な事故に合わずいつも無事に帰れるよう、ライダー主体で自分たちに必要な二輪環境を創る、それが『ライディングパークプロジェクト』です。

1 どうやって 重大事故を 減らすのか

1. どうやって重大事故を減らすのか？

各ライダーの技術と安全意識を上げる事、それが事故を減らす鍵です。事故の原因は一つではなく、簡単に事故をゼロにすることはできませんが警視庁発表の二輪死亡事故原因のトップは3年連続で「単独転倒事故」である事、また警察庁発表の道路形状別死亡事故件数のトップは「カーブ」で、しかもその割合が40%以上である事を考えれば、ライダーの技術と安全意識を上げる事で、多くの死亡事故が防げます。また単独事故以外の場合も、技術がしっかりしていれば防げる事故は少なくありません。

警視庁参照データ: http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kotu/roadplan/2rin_jiko.htm
警察庁参照データ: <http://www.npa.go.jp/toukei/koutuu5/Month.pdf>

5 『ライディング パーク』 を全国に！

5. 「ライディングパーク」を全国に！

「ライディングパーク」とは、免許取得後、誰もが安心して走れるレベルまでスキルアップしたり、高性能なバイクを乗りこなす練習をしたり、思う存分バイクの性能を試したりできる走行スペースの総称です。バイクを深く知ってもらい事故を減らすためには、早急に、このライディングパークを全国各地に増やす必要があります。目標は、ライダー誰もが、中低速走行の練習エリアへ1時間以内に、高速走行ができるサーキット等へは3時間以内にアクセスできる環境の構築です。と、同時に、既存の練習走行会やスクールとの連携を図り、より多くの方が自分にあったスタイルでスキルアップできるよう“乗るイベント”のネットワークを構築します。

2. ライダーは口頭で安全教育をされても行動しません

これまでも関係団体や警察による事故ゼロを目指した活動は度々行われてきましたが、目標を達成するには、私達ライダーの自発的な意識改革が必要です。口頭での安全教育の必要性に異議を唱える人はいないと思いますが、現実問題として、ほとんどの人は実感が無いうちは本気で行動しません。実感がなくても行動ができるのは、ごく一部のライダーです。

2 ライダーは 耳で聞いても 行動しません

6. ライダースパラダイス開催に向けて！

ライディングパークで行うライダーズネット主催イベントが、ライダースパラダイスです。各地で開催できるよう、呼び掛け人であるライダーズネットが頑張るのはもちろんですが、単独で頑張っても実現は不可能です。しかし、当事者であるライダーの皆さん、クローズコースやサーキット関係者、企業・ショップ関係者、警察・行政関係者を始め、プロジェクトの趣旨に共感、賛同して下さる皆さまの力が結集すれば、必ず実現できます。事故による不幸を一つでも減らすために、またより楽しいバイクライフのために、加えて活気ある二輪社会にするために、一緒にチャレンジして下さい。

6 力を結集し 実現へ！

3 8年間 延べ2万人の 経験から

3. 8年間延べ2万人の経験から

2006年より大小様々な練習走行イベントを行い、延べ約2万人に接してきた経験とアンケートから、ほとんどのライダーは、バイクを深く知り、実感としてバイクの危険性を認識した時に初めて、安全な走り方やプロテクター等の装備について主体的に考えるようになり、そして次の段階として、他者や社会環境に配慮するようになります。自らの感覚として、十分な安全マージンを取る習慣が身に付いたライダーは、確実に事故を起こさないライダーへと成長してゆきます。

4. ライダーの技術と安全意識を上げるために必要な事

技術と安全意識を上げるには、まずオートバイの本質を知る必要があります。自分が乗っているバイクの本質が分からない限り、安全に走る方法など分かるはずがありません。敵を知らなければ、戦いようがないのと同じです。その為にはまず、乗ることだけに集中できる安全なクローズドエリアでオートバイと向き合う事、つまり練習することが不可欠です。しかし、そのような場所と機会は、全く足りていません。その結果、普通のライダーの間でも、一般道で練習したりスポーツ走行をする事が常識となっており、いくつもの道路が二輪車走行禁止になるなど、社会問題にもなっています。

4 安全意識を 上げるには

● ライディングパークの二輪業界への波及効果

業界低迷の原因の一つには、ハード(バイク・用品)とソフト(練習走行や乗って楽しめる場所と機会)のバランスの崩れが挙げられます。ソフトを強化する事で、市場は活発になります。参加者アンケートには、クローズドコースでの走行が商品購入に直結するという結果がはっきりと現れています。

● ライダーズネットのCSR(SR): 社会問題の解決と業界の元気度UP

21世紀の企業は、利潤追求だけでなく、CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)を果たすことが存続の条件であるとも言われていますが、今、CSRは企業だけでなく、NPOにも求められるようになってきました。私たちは、事故ゼロのためのプロジェクトを通して、バイクが原因で起こる社会問題の解決と二輪業界の元気度UPにも貢献できるよう取り組んでいます。